

西部所・支所GOOD NEWS！！

特集号（地域連携 編！）

日頃から大変お世話になっております。西部所・支所都立学校のGOOD NEWSをお届けします。

都立田無特別支援学校

特集 NEWS 16 作業学習で地域貢献！

【取組内容】

特別支援学校では「作業学習」を通して、生徒たちが「働くことの意義」や「働くために必要な知識・技能・態度・習慣」などを学習しています。生徒たちは将来の就労に向けて、様々なことを学んでおり、その中で地域貢献を目的に地域の事業所などからの依頼に応える活動も行っています。

本校事務補助班では、地域の「西東京市障害者就労支援センター」から名刺作成を受注し、名刺の作成・納品を行いました。

【経緯・工夫について】（取組に至った経緯や実施にあたっての工夫 など）

生徒の卒業後の就労先である同センターとは、以前から生徒の現場実習等でお世話になっており、同センターのある建物の清掃活動を本校清掃班が行うなど、日頃から密な連携を図っています。その中で、進路担当者が本校の事務補助班の取組をPRしたところ、同センターの職員の方からの受注につながりました。本校の生徒、同センターの利用者の方や職員の方にとって有益な取組となりwin-winの関係になるように働きかけました。



名刺カッターによる裁断

【効果や今後の展開について】

普段、事務補助班の仕事は、本校の教職員からの「印刷物の丁合」や「資料の作成」の依頼がほとんどです。外部からの依頼を受け、生徒は普段以上に緊張感をもって、真剣に仕事に取り組みました。納品後、同センターの職員の方から「感謝状」をいただき、生徒たちは、自分たちの仕事が人の役に立つことを実感し、自己有用感が向上しました。



検品作業

【各学校での活用のポイント】（他校でも応用が可能な点 など）

本校では、教職員や保護者向けだけでなく、鉄道駅構内や商業施設での製品販売活動や、公共施設や商業施設の窓清掃、小・中学部のみを設置する特別支援学校での清掃活動など、地域等外部を対象とした活動に積極的に取り組んでいます。生徒の活動をどうすれば実際の社会の中にひろげられるかを、教員が生徒たちのアイデアも聞きながら考え、地域、関係機関に働きかけています。